



**19** ともやすこう  
**共保公出生の井戸**  
龍潭寺の南、田園のかたわらに白壁に囲まれた大きな石組み井戸がある。寛弘7年(1010年)、井伊家の初代・共保がこの井戸から誕生したといわれている。



**20** いいのやぐう  
**井伊谷宮**  
創立明治5年、後醍醐天皇第四皇子である宗良(むねなが)親王を祀る旧宮幣中社。学徳成就・家内安全などを願い、多くの参拝者が訪れる。

浜松市北区引佐町井伊谷1991-1  
☎053-542-0355 <http://www.iinoyaguuo.or.jp/>

**21** じこうあん みょうらんじ  
**自耕庵(現・妙雲寺)**  
直虎の菩提寺。直虎の死後、自耕庵へ葬られたと伝わる。自耕庵は直虎の院号「妙雲院殿月泉祐園禪定尼」をもって後に妙雲寺と改められた。

浜松市北区神宮寺町28-3

**銘菓めぐり**  
井伊谷の商店街には、奥浜名湖の銘菓「みそまん」や直虎グッズを販売するお店が並ぶ。お土産を探しながら、散策してみよう。



**GOAL!**  
**18** りょうたんじ  
**龍潭寺**

**約1時間で周遊できる! オススメルート**  
※移動時間のみ



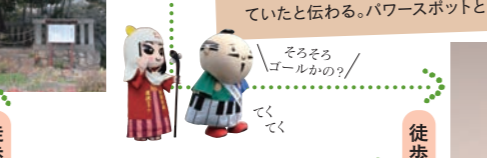
**18** りょうたんじ  
**龍潭寺**  
井伊直虎をはじめ、徳川四天王の筆頭・直政や幕末の大老・直弼など、井伊氏歴代の菩提を祀っている。東海一の名園と称される、国指定名勝「龍潭寺庭園(池泉鑑賞式庭園)」や多くの文化財を有する。



**22** いひじんじや  
**涇伊神社**  
南北兵乱の時、龍潭寺の境内から現在地へ移ったといわれる。井戸や井水を祭祀対象とした神社で、井伊氏の発祥とともに氏神になった。本殿背後の丘には古墳時代の巨石祭祀の遺跡・天白磐座遺跡がある。

浜松市北区引佐町井伊谷1150

**23**  
**パワーが宿る巨石群**  
**天白磐座遺跡** てんぱくいせき  
涇伊神社の本殿背後の丘にある古墳時代の巨石祭祀の遺跡で、「水神」「井の神」が祀られていたと伝わる。パワースポットとしても有名。



**24** ちいさいさん  
**地域遺産センター**  
亀之丞(井伊直親)が信州から持ち帰ったとされる、青葉の笛の複製が展示されている。

浜松市北区引佐町井伊谷616-5  
☎053-542-3660 開/9:00~17:00  
休館:平成29年12月29日~平成30年1月3日

# 井伊家の“源流”を歩く 直虎ゆかりの地をめぐる

井伊家の菩提寺である龍潭寺を拠点として、井伊谷をめぐるルート。直虎が生きた時代に思いを馳せながら、のんびり散策してみよう。

**11** とうこういん  
**東光院**  
直満と直義が命を落とした後、今川義元は、直満の子である9歳の亀之丞(直親)を差し出すよう命じた。天文13年(1544)、家臣・今村藤七郎は亀之丞をわらの袋に隠して運び出し、東光院に逃れたと伝えられる。※拝観は行っていません。

**12** しづかわいひげほしよ  
**渋川井伊家墓所**  
井伊氏一族の居館跡で、北側にある墓石群には、井伊氏(直之・直貞・直秀・直幸・直親 他)の名前が残っている。

**13** しづしょうあと  
**志津城跡**  
正暦4年(993)、藤原共資が築いたといわれる城。遠江国司として居城していた共資は、井伊氏の祖・共保を成人するまで養育したと伝えられている。現在、浜名湖国際頭脳センター付近に、志津古城址と刻まれた石碑が建っている。

**14** せんとうがみねしょうあと  
**千頭峯城跡**  
現在の摩訶耶寺の北東、標高137mの尾根に築かれていた。奥山氏が奮戦するも落城。井伊家の戦時の城、三岳城を本城にした南朝方の4つの支城のひとつ。

**15** いちのとりで  
**市野岩**  
永正10年(1513)、今川氏親が三岳城を攻め落とすために楞嚴寺周辺の市野岩に着陣。直平は尾張の斯波義隆とともに三岳城に籠城したが、翌年、今川勢の攻撃をうけて落城した。

**16** おくやまやかた  
**奥山館**  
井伊直親の正妻で、虎松の実母を出した奥山氏の館跡。奥山氏は井伊谷井伊家の分家で、8代頃から分かれ引佐の奥山郷を領地にして奥山朝清を称したことが始まり。方広寺の南西約2kmの中村地区、中央の高台が居館跡。現在はみかん畑になっている。

**17** いひげきょかんあと  
**井伊家居館跡**  
戦国時代、井伊氏が平時を過ごした居館の跡。江戸時代の記録によると、山麓にあった井伊氏の居館は、本丸のほか、二ノ丸、三ノ丸に分かれていたとされており、山上の曲輪(井伊谷城)は「御所の丸」と呼ばれていた。

**5** によいん  
**如意院**  
直虎の祖父である直宗の正室・浄心院が、天文11年(1542)、三河の田原城攻めで戦死した直宗の菩提を弔うために建立した。浄心院のお世話をした村人は、隠居免といわれる年貢の免除を受けたといわれる。※不在の場合あり

**6** いひなほひらのほか  
**井伊直平の墓**  
江戸時代に再建された井伊直平の墓。直虎が女城主となる前に、虎松(直政)の後見人となっていたのが曾祖父の直平だった。75歳にして戦に向かう途中で謀殺され、菩提寺となった溪雲寺で弔われてから、この地に葬られた。

**7** みたけしょうあと  
**三岳城跡**  
延元4年(1339)、後醍醐天皇の皇子・宗良親王が居城とし、北朝の足利尊氏勢と攻防の末、落城した。親王は大平城へ退いた。井伊氏の最終的な詰め城であった。

**8** おいだいらしょうあと  
**大平城跡**  
興国元年(1340)、井伊道政がこもる三岳城が落城。宗良親王とともに大平城に逃れて立て籠もったが、仁木義長の軍によって落城した。

**9** いだいらしょうあと  
**井平城跡**  
井伊直親の時代に分家した井平氏の城。元龜3年(1572)、武田信玄の将・山県三郎兵衛昌景の率いる一隊の進攻を受け落城した。

**10** ちょうらくじ  
**長楽寺**  
平安時代初期に、弘法大師により開創された古刹。小堀遠州作と伝えられている回遊式庭園は「満点星(とうだん)の庭」と呼ばれる名園。